

愛知人形劇センター
Presents

朗読 葉桜と魔笛

第一夜

◆開演日時

11月8日(火)
14:00~

◆料金

前売 2,500円
当日 2,800円

太宰治『葉桜と魔笛』

「桜が散って、このように葉桜のころになれば、私は、きっと思い出します」
老婦人が語るのは、三十五年前のこと。
若くして病のために寝たきりとなった妹を看病する日々のなか、
あるとき妹宛てに届いた恋文の束を見つける。
憤ましさのなかに優しさと強さを秘めた姉妹それぞれの思いの行く先は…。
過去を語る老婦人の息遣いまで聞こえてくるような繊細な文章の美しさが際立つ、太宰治による最初期の短編小説。

森鷗外『最後の一句』

江戸時代、大阪の船乗り業、桂屋太郎兵衛が斬罪に処されるとの
高札が掲げられてからの三日間の出来事。
太郎兵衛の長女いちが町奉行に父の助命を求めて嘆願する。
そして、お白州での取り調べがはじまる。
十六歳のいちが父を救うために放った最後の一句とは…。
いちの不動の覚悟と父を思う一途な思いが役人の胸を刺す。
「高瀬舟」に受け継がれていく鷗外の官僚批判の姿勢が反映された、
人間の精神の在り方に問かける作品。

出演

朗読：竹元まき子
(ことばの会えくせるしあ)

伴奏：長澤映子 (フルート)



◆竹元まき子 プロフィール

2歳より日本舞踊を始め、18歳で師範免許取得
全国舞踊コンクール第2位。
国立劇場、新橋演舞場等に多数出演。
長唄、義太夫、声楽と異なるジャンルで声を磨く。
琴生田流奥伝取得、鼓、三味線等幅広く修め
劇団前進座に入座。
退座後「ことばの会えくせるしあ」を立ち上げる。
朗読という表現法の可能性を追求し、一般に抱かれる朗読
のスタイルとは違う生きた言葉を客席に届ける公演活動を
続ける。
中日文化センター、他朗読教室主宰。

第二夜

◆谷崎潤一郎『春琴抄』

11月14日(月)14:00
前売当日共 2,000円

朗読：大栗幸子
世良久美子(朗読パフォーマンスユニットCR)

三味線演奏：川瀬由里(生田流琴曲正統社大師範)

第三夜

◆夏目漱石『夢十夜』より
第三夜、第六夜、第九夜、第十夜

◆芥川龍之介『蜘蛛の糸』

朗読：石田麻利子、大島守人、鈴木孝治、加藤咲子
作曲・ヴァイオリン演奏：宗川論理夫

11月15日(火)15:00 / 19:00
前売 2,000円 当日 2,500円

お問合せ
ご予約先

052-212-7229 愛知人形劇センター
平日10:00~18:00

mail@aichi-puppet.net

http://aichi-puppet.net/

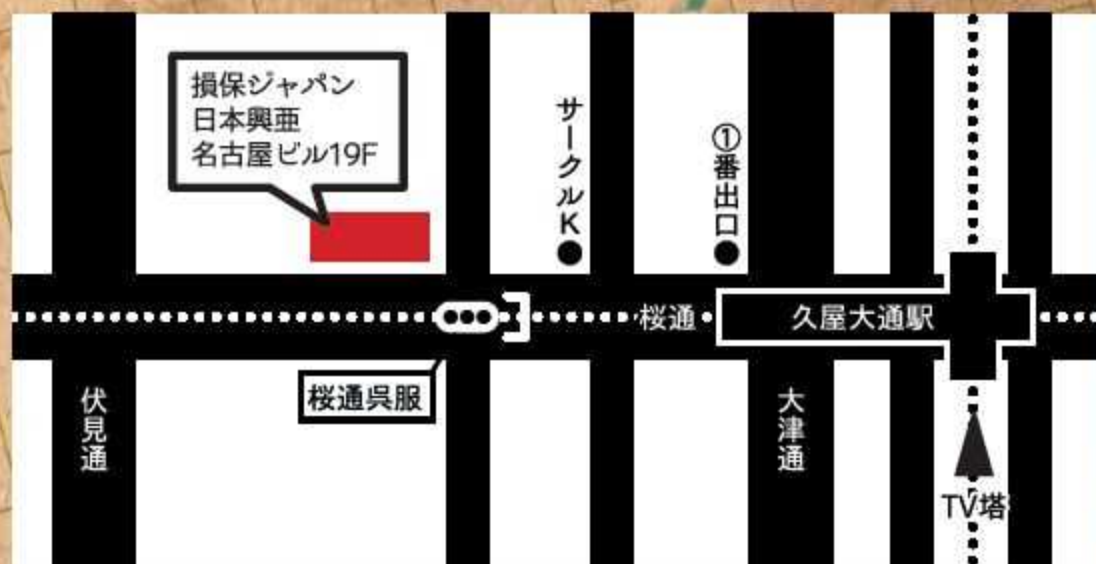
※お問合せはなるべく
メールにてお願いします

損保ジャパン日本興亜 人形劇場 ひまわりホール

名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル19F

※名古屋市営地下鉄「久屋大通駅」西改札①番出口より徒歩3分。

※駐車場はございません。公共交通機関もしくは最寄のコインパーキングをご利用下さい。



照明/寺島久美子(オイスターズ) 主催/特定非営利活動法人愛知人形劇センター 協賛/損害保険ジャパン日本興亜株式会社